

この樹の経緯 黒松

- ・実生5年目ぐらいの苗（正月飾りの一部？）を1975年頃から育ててきたもの
- ・あまり針金掛けをしないまま大きくなつたので、6割程度の高さで切斷し、枝を幹にして、全体に修正（今後、各枝を少し小さくする予定）
- ・一応、3方向から見ることが可能

2017年3月 小枝の無かった部分に接ぎ木（青色丸の2箇所、一の枝の懐と二の枝の懐）



2022年3月 太枝の降下（ラフィアでは形が固定される前に劣化することも多いので、木綿の布を切って作った帯を使用）



2023年2月 全体の整姿（まだ降下の固定を継続）



2024年9月 降下の固定を外して、現在の化粧鉢（黎鳳、丸縁付中深）に植替え

この樹の経緯 柿

- ・親の家で地面に植えている柿の実を採取して、種を2015年頃に播いたもの
- ・その後、全く植替えずに、毎年少し剪定するぐらいで育ててきた
(数年後に同じ鉢にクサボケの種も播いて、2025年9月に初めて開花した)



- ・2025年11月も綺麗に紅葉したので、急遽、展示することに決めて8日に植替え
(1本ごとに分けると煩雑なので寄植えのままで、また、あまり根を薄くすると枯れそう
なので妙に盛り上がった植え方になり、側面の苔は貼り直した)
(苔の中のマンネングサなどは変化を与えるので残した)



- ・なお、薄くて淡い色の鉢が必要になり、以下の樹（ヤマコウバシ）を植替えて鉢を転用

